



3年生 内定報告会

10月以降に現場実習から採用試験へ臨み、企業から内定をいただいた生徒は、職員室の全職員の前で内定報告会を随時実施しました。積み上げた経験の成果を伝える生徒は、将来への期待や不安が混じった様子でしたが、卒業までに取り組む具体的な課題を話すことができました。

就職はゴールではなく、新たなスタートと捉え、学び続ける気持ちをもって残りの学校生活を送れるように、精一杯取り組みましょう。

1年生 企業内実習報告

2月16日(月)～20日(金)に1年生第三期企業内実習を行いました。1年生最後の実習となる3期は、今までと異なり5日間行いました。5日間となることで職場の雰囲気や仕事内容に慣れ緊張も解けると同時に、毎日働き続ける大変さも感じる実習となりました。

1年生での3回の実習を通し、自分の行きたい進路の分野は見えてきたでしょうか。2年生での第一期現場実習に向けて自分の進路をより具体的に考えていきましょう。

出前授業「道路区画線工事体験」

1月28日(水)に本校駐車場で、道路に区画線を引く職業体験を行いました。実際の作業に入る前には、使用する道具や手順、注意点について丁寧な説明があり、生徒は真剣な表情で話を聞いていました。普段なかなか体験することがない作業ということもあり、集中して取り組む姿や、仕上がりを意識しながら丁寧に作業する姿が印象的でした。

就労支援ネットワーク会議

2月6日(金)就労支援ネットワーク会議を行いました。19社の企業の方に参加していただきました。3年生のビジネス・情報コースの生徒が受付や会場までの案内、食品コースのパンセット、豚丼の集金を担当し、就職先になったり実習でお世話になったりした生徒が会場で挨拶や座席の案内をして、企業の方々をお迎えしました。どの生徒も「緊張します。」「うまくできるかな。」などと話して緊張を和らげつつ、笑顔で行うことができました。

中央工機株式会社の代表取締役社長である加納稔様に「当社の障がい者雇用の現状と取組」について講演をいただきました。職場実習の受入れの経緯や進め方、就業に向けての仕組み等、具体的な実践例を交えて話していただきました。意見交流会では、現在、障がい者雇用を行っている企業や、これから行っていきたいと考えている企業等が、具体的な仕事内容や支援、必要な力等、様々な意見を活発に交流する中で、企業として必要とされる力とは何かの大きなヒントとなる情報をいただきました。働くために必要な力については、様々な学習の場面で取り上げていきたいと思えます。